



平成28年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月24日

上場会社名 株式会社タカショー 上場取引所 東
 コード番号 7590 URL http://www.takasho.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)高岡 伸夫
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経営管理本部副本部長 (氏名)井上 淳 (TEL)073(482)4128
 四半期報告書提出予定日 平成27年9月3日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家、アナリスト向け)

1. 平成28年1月期第2四半期の連結業績(平成27年1月21日～平成27年7月20日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年1月期第2四半期 | 9,675 | △2.5 | 525 | 3.8 | 546 | 11.7 | 326 | 12.7 |
| 27年1月期第2四半期 | 9,924 | △1.6 | 506 | △41.7 | 489 | △43.5 | 289 | △43.4 |

(注) 包括利益 28年1月期第2四半期 329百万円(223.8%) 27年1月期第2四半期 101百万円(△84.0%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年1月期第2四半期 | 26 60 | — — |
| 27年1月期第2四半期 | 23 61 | — — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 28年1月期第2四半期 | 18,266 | 7,802 | 42.2 |
| 27年1月期 | 16,736 | 7,717 | 45.6 |

(参考) 自己資本 28年1月期第2四半期 7,716百万円 27年1月期 7,632百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年1月期 | — — | 0 00 | — — | 17 00 | 17 00 |
| 28年1月期 | — — | 0 00 | | | |
| 28年1月期(予想) | | | — — | 17 00 | 17 00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年1月期の連結業績予想(平成27年1月21日～平成28年1月20日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 19,404 | 5.0 | 1,176 | 94.9 | 1,129 | 66.0 | 624 | 93.2 | 50 82 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 28年1月期2Q | 12,379,814株 | 27年1月期 | 12,379,814株 |
| 28年1月期2Q | 101,362株 | 27年1月期 | 101,362株 |
| 28年1月期2Q | 12,278,452株 | 27年1月期2Q | 12,278,452株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予測値と異なる結果となる場合があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 3 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年1月21日～平成27年7月20日)におけるわが国経済は、政府による景気回復策や日銀の金融緩和策継続により株高や円安が維持されたことで輸出環境や企業収益が改善され、景気は緩やかながら回復基調が続いています。

当社グループを取り巻くガーデニング業界におきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響が薄れ、新設住宅着工戸数は増加基調となっているものの震災復興やオリンピックに向け地方からの人材流出等により全国的に工事を行う作業員が不足しており厳しい状況が続いております。

このような状況において、当社グループは、庭は家での暮らしにおける5番目の部屋である「5th ROOM」(フィフスルーム)に基づき、庭からできる省エネ、節電、安全をテーマとした「SMART LIVING GARDEN」(スマートリビングガーデン)と家族が笑顔で健康になる庭「ガーデンセラピー」をテーマとした自然や季節を楽しみ、心地良い庭での暮らしを目的とする新商品の拡充を図りました。さらに、タカショー総合カタログPROEX(プロエクス)2015年版を平成27年2月2日に発刊し、市場への啓発活動を行いました。また、住まい・インテリアのキュレーションプラットフォーム「iemo」(イエモ)を運営する株式会社ディー・エヌ・エーの子会社であるiemo株式会社との業務提携により、エクステリア・庭・ガーデニングの施工例画像や当社の商品紹介記事等を月間500万人のiemo読者に配信することにより、一般ユーザーへの啓発活動を推進いたしました。

売上高につきまして、プロユース部門では、アルミ製人工木「エバーアートウッド」を用いた「アートフェンス」シリーズの販売が順調に推移したことや、またこれらを構成する部材である「エバーアートウッド」がガーデンエクステリアとして使用されることから販売が順調に推移いたしました。さらに、木、石、塗り壁、和風など様々な天然素材を再現したアルミ複合板「エバーアートボード」の販売も順調に推移いたしました。また、夜の庭を演出する「光」について、当社認定制度である「タカショーエクステリア&ガーデンライティングマイスター制度」の認定者の拡大を図り、ローボルト(12ボルト)LEDライト等の照明機器の販売が堅調に推移いたしました。

一方で、人工強化竹垣等の和風関連商品の販売が減少したことにより、売上は前年同四半期と比べ減少いたしました。

ホームユース部門では、前年に比べ商品投入率は増加しているもののホームセンター業界全体の売上が伸び悩む中、天候不順の影響により日除け商品等の販売が低下したため、売上は前年同四半期と比べて減少いたしました。

海外展開におきましては、中国の製造子会社において品質基準の強化や在庫管理機能とデリバリー体制の更なる整備が進み、新規得意先の取引開始および新商品の投入等により販売子会社の売上が増加し、為替変動も追い風となり売上は前年同四半期と比べて増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,675,579千円(前年同四半期比2.5%減)と減収となりましたが、利益面においては軽微ではありますが売上総利益率が改善され、販売管理費の抑制により営業利益は525,189千円(前年同四半期比3.8%増)と増益となりました。また、営業外費用において、為替変動の影響により、経常利益は546,095千円(前年同四半期比11.7%増)となり、四半期純利益は326,661千円(前年同四半期比12.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は18,266,187千円(前連結会計年度末と比べ1,529,845千円増)となりました。

流動資産においては、ガーデニングシーズン立ち上がりの売上増加に伴い受取手形及び売掛金が4,074,699千円(前連結会計年度末と比べ912,960千円増)となりました。また、たな卸資産においても販売に向けた在庫保管により4,393,439千円(前連結会計年度末と比べ54,593千円増)となりました。固定資産においては、建設中の建物及び構築物により建設仮勘定が155,572千円(前連結会計年度末と比べて142,945千円増)となりました。

流動負債においては、販売に向けての商品調達が先行して行われることから支払手形及び買掛金が3,961,119千円(前連結会計年度末と比べ1,146,067千円増)、また商品調達が上半期に集中することにより短期借入金が2,654,530千円(前連結会計年度末と比べ255,981千円増)となりました。固定負債においては、運転資金を長期借入金から短期借入金へ移行させたことにより長期借入金が1,116,523千円(前連結会計年度末と比べ250,239千円減)となりました。

純資産においては、利益剰余金の増加により7,802,244千円(前連結会計年度末と比べ84,249千円増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成27年3月5日に発表いたしました業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が45,125千円減少し、利益剰余金が28,997千円減少しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年1月20日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年7月20日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,408,277 | 2,817,410 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,161,738 | 4,074,699 |
| 商品及び製品 | 3,424,705 | 3,425,553 |
| 仕掛品 | 271,967 | 279,513 |
| 原材料及び貯蔵品 | 642,172 | 688,373 |
| 繰延税金資産 | 107,651 | 176,496 |
| その他 | 1,249,923 | 1,229,030 |
| 貸倒引当金 | △103,680 | △98,414 |
| 流動資産合計 | 11,162,757 | 12,592,662 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 2,600,663 | 2,544,852 |
| 土地 | 746,070 | 746,072 |
| 建設仮勘定 | 12,627 | 155,572 |
| その他(純額) | 455,037 | 462,368 |
| 有形固定資産合計 | 3,814,399 | 3,908,866 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 139,642 | 125,243 |
| その他 | 553,356 | 527,895 |
| 無形固定資産合計 | 692,998 | 653,138 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 156,750 | 150,835 |
| 繰延税金資産 | 914 | 510 |
| その他 | 938,592 | 991,459 |
| 貸倒引当金 | △30,070 | △31,285 |
| 投資その他の資産合計 | 1,066,186 | 1,111,520 |
| 固定資産合計 | 5,573,584 | 5,673,525 |
| 資産合計 | 16,736,342 | 18,266,187 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年1月20日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年7月20日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,815,052 | 3,961,119 |
| 短期借入金 | 2,398,548 | 2,654,530 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,057,341 | 1,060,074 |
| 未払法人税等 | 171,126 | 207,874 |
| 賞与引当金 | 58,285 | 58,616 |
| その他 | 945,763 | 1,167,582 |
| 流動負債合計 | 7,446,117 | 9,109,797 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,366,763 | 1,116,523 |
| 退職給付に係る負債 | 112 | 184 |
| 資産除去債務 | 90,725 | 91,553 |
| その他 | 114,628 | 145,883 |
| 固定負債合計 | 1,572,229 | 1,354,145 |
| 負債合計 | 9,018,347 | 10,463,942 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,307,776 | 1,307,776 |
| 資本剰余金 | 1,358,461 | 1,358,461 |
| 利益剰余金 | 4,246,117 | 4,335,047 |
| 自己株式 | △26,468 | △26,468 |
| 株主資本合計 | 6,885,886 | 6,974,816 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 48,800 | 47,072 |
| 繰延ヘッジ損益 | 191,000 | 49,432 |
| 為替換算調整勘定 | 437,433 | 526,270 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 69,408 | 119,263 |
| その他の包括利益累計額合計 | 746,643 | 742,038 |
| 少数株主持分 | 85,465 | 85,389 |
| 純資産合計 | 7,717,995 | 7,802,244 |
| 負債純資産合計 | 16,736,342 | 18,266,187 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月21日 至平成26年7月20日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月21日 至平成27年7月20日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 9,924,625 | 9,675,579 |
| 売上原価 | 5,853,682 | 5,674,013 |
| 売上総利益 | 4,070,943 | 4,001,565 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,564,769 | 3,476,376 |
| 営業利益 | 506,173 | 525,189 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4,026 | 3,523 |
| 受取配当金 | 1,257 | 1,081 |
| 受取手数料 | 27,438 | 25,755 |
| 為替差益 | - | 37,778 |
| その他 | 59,672 | 15,214 |
| 営業外収益合計 | 92,394 | 83,353 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 33,669 | 29,244 |
| 為替差損 | 57,405 | - |
| 売上割引 | 12,889 | 14,610 |
| コミットメントフィー | 1,499 | 14,241 |
| その他 | 4,003 | 4,350 |
| 営業外費用合計 | 109,466 | 62,447 |
| 経常利益 | 489,101 | 546,095 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 188 | 197 |
| 特別利益合計 | 188 | 197 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 2,788 | 330 |
| 特別損失合計 | 2,788 | 330 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 486,502 | 545,962 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 256,747 | 214,821 |
| 法人税等調整額 | △63,997 | △1,435 |
| 法人税等合計 | 192,749 | 213,386 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 293,752 | 332,575 |
| 少数株主利益 | 3,882 | 5,914 |
| 四半期純利益 | 289,869 | 326,661 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月21日 至平成26年7月20日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月21日 至平成27年7月20日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 293,752 | 332,575 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,818 | △1,728 |
| 繰延ヘッジ損益 | △124,567 | △141,568 |
| 為替換算調整勘定 | △70,223 | 90,449 |
| 退職給付に係る調整額 | - | 49,854 |
| その他の包括利益合計 | △191,971 | △2,992 |
| 四半期包括利益 | 101,780 | 329,583 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 101,639 | 322,057 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 141 | 7,526 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

| | (単位：千円) | |
|-------------------------|--|--|
| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月21日 至平成26年7月20日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月21日 至平成27年7月20日) |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 486,502 | 545,962 |
| 減価償却費 | 191,561 | 215,274 |
| のれん償却額 | 19,007 | 26,526 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 86,639 | △3,329 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 1,231 | 331 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | △929 | - |
| 受取利息及び受取配当金 | △5,283 | △4,604 |
| 支払利息 | 33,669 | 29,244 |
| 為替差損益(△は益) | 3,030 | △21,833 |
| 有形固定資産売却損益(△は益) | △188 | △197 |
| 固定資産除却損 | 2,788 | 330 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △1,561,805 | △909,514 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △562,165 | △83,498 |
| その他の資産の増減額(△は増加) | 159,389 | △210,620 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 1,429,419 | 1,162,982 |
| その他の負債の増減額(△は減少) | 337,037 | 318,595 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 31,967 | △86,757 |
| その他 | △11,858 | 11,601 |
| 小計 | 640,013 | 990,493 |
| 利息及び配当金の受取額 | 5,283 | 4,604 |
| 利息の支払額 | △35,275 | △30,762 |
| 法人税等の支払額 | △266,236 | △184,878 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 343,785 | 779,457 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △159,094 | △200,202 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △20,271 | △42,244 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △297 | △139 |
| 子会社株式の取得による支出 | - | △10,000 |
| 短期貸付金の回収による収入 | 8,052 | - |
| その他 | 34,947 | 2,440 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △136,663 | △250,146 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 2,240,686 | 9,520,000 |
| 短期借入金の返済による支出 | △619,473 | △9,246,135 |
| 長期借入れによる収入 | - | 350,014 |
| 長期借入金の返済による支出 | △557,942 | △548,937 |
| 配当金の支払額 | △233,290 | △208,733 |
| その他 | △10,722 | △10,452 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 819,258 | △144,243 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △7,367 | 24,869 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 1,019,012 | 409,936 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,777,497 | 2,383,797 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,796,510 | 2,793,734 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。